

◆村崎修二・安登夢（アトム）

元祖猿回しの里・山口県周東町を拠点に全国を行脚する“本仕込み”猿曳き芸。座長・村崎修二は小沢昭一・宮本常一・今西錦司との交流のなかから1978年「周防猿まわしの会」を発足、1982年「猿舞座」を旗揚げした。相棒の5代目芸猿・安登夢は京都嵐山生れ

特別ミネラル栽培の会 特別講演より

たかが猿廻し、されど猿回し

安登夢（アトム）に学ぶ人と自然との共生

文： 群馬県 清水正行



静まり返った会場に、太鼓が響きわたりました。村崎氏に手をひかれて本日の主役が登場しました。猿回しでお馴染みの村崎修二氏と野生の猿「安登夢（アトム）」との共演は、勉強会で疲れた？会員の心を和ませていたようです。村崎氏は、独特の言い回しの中でアトムとの芸を見せてくれました。猿芸の披露は、自然との共生についての講演となりました。野生の猿と村崎氏との長年にわたる生活は、親子の絆を彷彿とさせるものでした。村崎氏から伺った話ですが、村崎氏がギターを爪弾くとアトムは、村崎氏の傍らで静かに音楽を聞くようです。子供が、母親の子守唄を聞きながら眠りにつくようなもの

なのではないかと想像しました。そして、数年前に、ウオークマンで音楽を聴きながら立っていた猿を思い出させてくれました。村崎氏曰く、アトムの教育は、幼児教育と同じく繰り返しの中行われてきたそうです。アトムは、学習と経験により成長してきたそうです。体罰や恐怖の中で無理やり覚えさせる学習方法はとってこなかったそうです。当日は、時々不機嫌になって芸をしないこともありました。観客の中の何名かは、芸をしない猿にてこづっている村崎氏の姿を見て喜んでる様子を見させていました。村崎氏は、緊張？して芸をしないアトムに対して応援の声を求めていると会場の観客に求めました。そして、芸ができたときには、猿に対して褒めたり拍手を送るようになっています。猿は、小さな成功を積み重ねながら次第に大きな成功に向けて演技を続けていました。野生の鳥や動物は、人間との距離を測りながら暮らしているそうです。人間が

北海道（道東）特別ミネラル栽培勉強会

1月25日（木）開催決定



今年も恒例と成りました「特別ミネラル栽培の会（北海道）勉強会」を北海道音更町で開催することとなりました。昨年の

勉強会はお陰様で50名以上の参加をいただき大成功を収めることができました。今回も、各メーカーの担当者をお呼びし、農作物栽培上での病気や害虫対策、土壌病害の講習会を予定しております。その後、日頃皆様方が栽培する上でのお悩みの問題点を引き出し、ディスカッション方式で質疑応答を行いたいと考えております。もちろん昨年同様に勉強

いなくなると人間を探して移動するのだそうです。その昔、多くの人々にぎわっていた山村も次第に引越して行ったために一人で住むようになってしまった老人は、村の死を嘆いたそうです。かつては夕方までギャーギャー鳴いていたカラスが、午前10時を回った頃になるとどこかへ飛んで行ってしまふのだそうです。森の奥からこつそりと村を見ていたであろう獣たちも、めつきり見なくなってしまうそうです。近年になると獣たちが新聞紙上やテレビで放映され



ることが多くなりました。人間との適度な距離を測れずに近寄りすぎたのかも知れませんが、捕獲された獣は二度と人間に近寄れないような人里離れた山奥に連れて行かれていくようです。人間は、自然との共生を忘れたかのように文明を楽しんでいるようです。

やさかいクレジットカードは

◆手数料が無料◆

資材のお金はどんどんかかるのに、作物が売れるのはまだまだ先。そんな時はぜひご利用ください。

1～6月までの購入は6・7・8月に
7～11月までの購入は12・1月に
お支払いが可能です

詳しくは（株）井手商会まで

あると便利な
**やさかい
カード**



8304

お問い合わせ
有限会社高橋商会
電話0155・31・

▼開催日時
1月25日 木曜日

▼開催場所
十勝川温泉はにうの宿
（北海道音更町）

▼お問い合わせ
電話0155・31・

会終了後の「お楽しみ抽選会」も予定しております。お隣、ご近所、お友達などを誘いの上、ぜひご参加ください。文・高橋